



## 岸田政権、突き進む大軍拡への道 “戦争はダメ！”の声を大きくしていこう

昨年 12 月の「安保関連 3 文書」の閣議決定、1 月の訪米でのバイデン大統領の「了承」を受けて、始まった今年の通常国会。提出された 23 年度予算案では防衛関連費の膨張が目立ちます。防衛省の「令和 5 年度予算の概要」・「我が国の防衛と予算（案）」は～防衛力抜本的強化「元年」予算～と題して、その「主要事項」に、スタンド・オフ防衛能力に約 1 兆 4 千億円、統合防空ミサイル防衛能力に約 9 千 8 百億円、などの敵基地攻撃能力（「反撃能力」と言っていますが）があげられており、「整備計画対象経費」として約 6 兆 6 億円を計上しています。

運用のイメージや、個々の兵器の詳細説明まで添えられ、軍備拡張が得々と語られています。従来、日本が攻撃されたら（このこと自体もあるとは思えないのですが）衛るという考えからはかけ離れています。運用のイメージを逆に見れば、日本に対してもこうした攻撃が想定されてくるわけで、全面戦争を準備することになってしまいます。

片方が軍備拡張をすれば、他方もそれに応じて軍備拡張をする、際限のない軍備拡張競争に突き進む、というのは今までの歴史の教訓ではないでしょうか。また軍備拡張には多額の金が必要です。結局国民の暮らしを改善すべき金も軍備拡張に使っていくことになってしまった戦前の教訓を忘れてはなりません。

九条の会は、1 月 23 日に「声明」（資料 1）を発表し、「今こそ、市民が立ち上がる時です。大軍拡と改憲は、アジアと日本を戦争に巻き込む道、絶対に許さないという声で、国会を取り囲みましょう。」と呼び掛けています。

また、安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合は、2 月初めに、立憲民主党・日本共産党・れいわ新選組などの野党に対して「市民連合は、今国会で、野党各党が共闘して闘うことを期待し」14 項目からなる「2023 年通常国会開会にあたっての市民連合要請書」（資料 2）を示しました。

国会の内外で、岸田政権の危険な軍拡への道を食い止め、憲法 9 条の明文改憲への道を押しとどめましょう。

（代田 2 丁目・伊東 宏）

資料 1 : <http://www.9-jo.jp/news/9jouNews/20230125news439.pdf>

資料 2 : <https://shiminrengo.com/archives/6320>



## ジェンダーをめぐる

「軍拡問題」は他の方にお任せするとして、それ以外にもわが国は危機的状況満載です。

例えば昨年末から通常国会序盤にかけ、杉田水脈前総務政務官、丸川珠代前五輪担当相、小池百合子都知事という 3 人の女性政治家が注目を集めました。

最新（2022 年）のジェンダーギャップ指数（男女格差の程度を表す指標）を見ると、日本は調査対象の 146 カ国中 116 位、とくに政治分野では実に 139（ワースト 8）位。この女性差別大国で、女性たちの代表たる数少ない女性政治家のうちでも、彼女たちはとりわけ大きな発言力・影響力を手にした貴重な存在です。ところが……

杉田氏は、性暴力被害女性について「女性に落ち度があることは明らか」「女性はいくらでもウソがつける」などと公言して憚りませんでした。

丸川氏は、かつて、所得制限のない子供手当を打ち出した民主党政権に対する「愚か者めが！」の絶叫野次が掘り返され、プーメランはその一言を T シャツにして売り出した小池氏（当時の自民党広報本部長）にも向かった。この野次は、表面的には同政策をバラマキと批判するものでしたが、その奥には、子育ては社会の責任とする民主党の主張を否定し、それを家族の一実際は母親＝女性の一責任としたい安倍元総理以下自民党右派（&統一教会？）の強い意思があり、2 人はそれを声高に代弁したのです。

つまり自民党では、女性たちのかすかな希望の光であるべき女性政治家が、揃いも揃って女性の敵である、というより、女性の敵でなければ発言力は得られない。こんな党に憲法を改訂させたら、たとえ戦争がなくても日本は早晚滅びます。

（梅丘 1 丁目・真藤 一彦）

# ご存じですか？ はじめての防衛白書

(インターネットで「はじめての防衛白書」と検索してみてください)

<https://www.mod.go.jp/j/kids/wp/index.html>

小学校高学年・中高生向けの自衛隊のPR冊子です。現役の自衛官が描いたというかわいいイラストを使って、自衛隊のことを紹介しています。中高生が、若い自衛官にインタビューした記事もあり、子供たちが、自衛隊に親近感を持つように工夫されています。

そこまでは、“想定内”でしたが、私が「何？これ??」と驚いたのは、2章の「日本の周りの安全保障環境」のところ、特に中国に関する記述です。5ページも使って、中国が所有する兵器の写真、中国が防衛予算を増やしていること、日本周辺で示威行動を繰り返していることなどを、カラフルな図や、グラフで描いています。これを読んだ人が、中国は無駄な怖い国だ、日本も軍拡が必要だと思ふような、うまい書き方です。中国も問題行動をしているかもしれませんが、なんといっても隣国です。仲良くする方法を探らなければなりません。子供たちにこんなことを刷り込むのは日本にとっていいことではないと思うのですが。

(代田2丁目・伊東光子)



## 集会等の紹介

\*\*以下の案内があります。今後の状況によっては中止もありますので、ご注意ください。

2月24日(金) 18:30~

ロシアのウクライナ侵攻から1年。

ウクライナに平和を！2・24日比谷野音集会&デモ

場所：日比谷野外音楽堂(日比谷公園内)

共催：さようなら原発・1000万人市民アクション実行委員会

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

3月12日(日) 10:30~

3・12世田谷区民集会&ピースパレード

◎戦争につながる大軍拡と増税反対

◎台湾有事を起こさせない外交を — 東南アジア諸国と共に —

場所：若林公園(松陰神社となり)

主催：戦争させない！9条こわすな！世田谷連絡会

3月26日(日) 14:00~16:30

戦争を起こさせないことはできるの？ ~外国からの脅威があると言われるが~

講師 半田 滋さん(防衛ジャーナリスト・東京新聞論説兼編集委員)

場所：狛江市民センター(中央公民館)第4会議室(2階)

(小田急線「狛江」駅下車徒歩5分)

主催：平和憲法を広める狛江連絡会・こまえ九条の会

~ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、

「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ~

+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++